

Shake Hands 常滑国際交流協会



第116号 2017年2月12日発行

〒479-0837 常滑市新開町5-58 電話・FAX：0569-34-4797

E-メール：tia@japan-net.ne.jp ホームページ：<http://www.japan-net.ne.jp/~tia/>

NHK World TV

NHKの国際テレビ（ネット）放送で常滑が放映されます。

NHK World TVは、世界140の国と地域で、インターネットで毎日24時間、英語で放送されています。（視聴可世帯2億7千万）

“Journeys in Japan”は「NHKワールドTV」で、外国人リポーターの視点から日本の魅力を発見する旅番組です。美しい日本の自然や、人々の暮らし、奥深い日本文化、観光情報など、様々な日本を紹介しています。

常滑の取材は1月の中旬から下旬に行われ下記の予定で放映されます。ぜひご覧ください。

【番組名】：*Journeys in Japan（ジャーニーズ イン ジャパン）*英語番組28分

【放送日時】：*NHKワールド 合計4回放送（時間は日本時間）

2017年2月28日(火) 1. 8:30~8:58 2. 14:30~14:58
3. 21:30~21:58

2017年3月1日(水) 4. 2:30~2:58

<http://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/tv/journeys/>

【その他】：*NHKワールドのウェブサイトでの無料ビデオオンデマンド

<http://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/vod/>

（1年間いつでも視聴できます。）

第3回 国際交流・学習会のお知らせ

日本の常識・世界の常識

「外国の人はなぜこんな行動を？」と感じたことはありませんか。思わぬ誤解を生まないよう、文化の違いによる習慣やマナーの差について話会いたいと思います。お気軽にご参加下さい。

日時：2017年3月18日（土）午後2時～3時30分

会場：常滑商工会議所・東館2階会議室 参加無料/申込不要

問合せ：常滑国際交流協会

We LOVE Malaysia



鬼崎南小学校マレーシア受入プログラム
2016年12月1日(木)~18日(日)



鬼南小では10年ぶりに単独で受入事業を行いました。受入れが初めてということに加え、マレーシアはイスラム教ということもあり、食事やお祈りのことなど気がかりな事ばかりでとても心配でした。しかし、事前に名古屋モスクに行って話を聞いたり調べたり、派遣児童の保護者と連絡をとる中で、たいしたことではないことがわかりました。実際に受け入れてみると、宗教の違いはあっても、同じ人間ということを感じました。とても明るい子どもたちで、学校でも大人気でした。まわりのみんなをハッピーな気分させてくれました。最初の心配からきたマレーシアへの抵抗感は払拭されました。子供だけでなく、先入観のある大人にとっても大変有意義な経験となりました。

交流中、特に楽しかったのが豊田旭高原への日帰りバス旅行です。冬のない国から来ているので、雪自体に大興奮でした。日本人の子供達もこんなに大人気で雪合戦することもないので、とても楽しい時間になりました。ホスト児童によるバスレクもあり道中もとても楽しかったです。

その他にも沢山の予定を入れましたが、帰宅後に毎日のように通った近所の公園も大変いい思い出になりました。

学校での交流もとても充実していたので、ホスト以外の友達もたくさんできていました。全体的にとってもいい交流ができたように思います。ご支援、ご協力いただきました皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



平成28年度 オーストラリア派遣事業を終えて

常滑東小学校国際交流委員会 委員長 喜多淳子

5名の派遣児童はリーダーの先生お二人と共に、7月30日にセントレアを出発し、3週間オーストラリア メルボルンの子供たちと豊かな自然の中で素晴らしい交流が出来ました。交流したマウントビュー小学校では、キャンプに参加して野外料理や小屋作り、アーチェリーなど驚きとわくわくの連続の体験や様々な学校での学びの体験をさせて頂き心から感謝します。また、この事業の成功に導いて頂いたT S I Eをはじめすべての皆様に感謝します。



6年 松本 玲羅

日本とオーストラリアの1番の違いは、地上に電柱や電線がなかったことです。日本よりも空が高くて、きれいに見えました。道路も広くて、いろんなところに木が植えてあり、緑がたくさんで、日本の住宅街よりもきれいだと思います。

オーストラリア ワクワク体験記

5年 土川 実穂

ホストファミリーとの生活が思い出です。とても優しくて、いつも私を気にかけてくれました。休みに日には展望台に行ったりビーチに行きました。学校では、生徒が「ハロー」や日本語で「こんにちは」と話しかけてくれました。

6年 原 悠歌

とても自然が豊かでたくさん動物を見ることができました。ホストファミリーの家の庭には「ポッサム」というフクロギツネや色がきれいなオウムがやってきました。日本より雲が高く感じ、開放感に溢れていました。

5年 水上 釉月

クラスレッスンで私達は、ひらがなと折り紙と習字を教えました。筆を使うのは初めてのようで、自分の名前を筆で書いたのがうれしそうでした。折り紙が一番もりあがりました。国は違っても折り紙を楽しむ気持ちは同じだと思います。

5年 西念 拓磨

思い出に残っているのは家庭科の授業で、ソーセージロールというパンとクッキーを作ったことです。ソーセージロールはウィンナーではなく、ハンバーグのような肉が入っていました。クッキーは甘かったけれどおいしかったです。

ニュージーランドとオーストラリアから常滑へ来訪



青年海外協力協会（JOCA）より外務省の Jenesys 計画の研修生のやきもの散歩道と窯元のガイドの依頼があり、1月28日（土）12時30分～常滑国際交流協会から市原と衣川がガイドしました。来訪者はニュージーランド5名とオーストラリアから10名、JOCA1名、通訳案内士1名合計17名。

やきもの散歩道では招き猫がとても人気で、たくさんの質問がありました。猫の手の向き、右手左手の意味などを説明すると、とても興味深く聞いてくれました。また散歩道の途中のダンゴ屋さんでは、ダンゴが人気でした。道の途中でダンゴの串受けをみつけて、その発想が日本的だと大いに盛りあがっていました。



窯元は甚秋陶苑（伊藤成二さん）に訪問し、作陶の実演を見学しました。展示されていた作品が気に入ってたくさんの方が買ってくれました。買い物で長引いた結果、予定を40分程もオーバーしてしまいましたが、皆さんがとても喜んでくれたので、いいガイドができたと思いました。



短い時間でしたが2時40分に無事バスで名古屋に向かいました。参加者の一人に焼き物を取り扱う仕事をしている方がいて、今後甚秋陶苑さんとの取引を希望していて、ガイドとしてもとてもうれしく思いました。（衣川）